



▲おいしそうな綿菓子が笑顔がこぼれます



▲校区のシンボル笠山に集まった子どもたち

地域の話題

童浦校区

人と人をつなぐ「まつり」

毎年秋に開催されている「笠山だでのんまつり」について、
童浦校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。



童

童浦校区では、毎年10月下旬の土曜日に、校区のシンボルである笠山周辺や童浦小学校において、「笠山だでのんまつり」を開催しています。

新旧地区の交流を

人口・世帯・児童数が市内最大の本校区は、農漁業中心の旧5地区と、臨海地域の企業進出をきっかけに形成された新興住宅地域の新6地区で構成されています。そのため、旧地区と新地区の交流が長年の課題でした。そこで、童浦校区にある豊かな自然環境を活かし、子どもたちを中心に、さまざまな世代の人が交流できる村おこしのイベントとして、平成10年から「笠山だでのんまつり」を始めました。今年も、10月22日(土)

に14回目のまつりを開催します。

まつりでは、童浦小学校の児童たちが、昔の遊び体験やしめ縄作り、水鉄砲作りなどの体験講座を小学校で行い、その後笠山へ移動します。小学生が来るまでは、北部保育園・山北保育園の園児と保護者が笠山会場で遊んでいます。小学生は、会場で行われる餅つき・お茶会・だでのんギネス・大声大会などを楽しみます。また、会場内には、焼きいも・団子・ポップコーン・綿菓子・チョコバナナなどたくさんさんのバザーがあります。自由時間には、子どもたちは笠山に登ったり、ふもとの公園を駆け回ったりして遊んでいます。

このイベントは、校区コミュニティ協議会を構成するPTA・老人クラブ・女性クラブ・子ども会・消

防団など各種団体の協力で開催しています。子どもたちの心に、誇りある笠山の風景とともに、地元の大人のふれあいがある、いつまでも心に残ってくれることを願っています。

ホームページを開設しました

童浦校区コミュニティ協議会では、今年2月にホームページを開設しました。昔から住んでいる人や他の地域から移り住んだ人に、この地域のことをもっとよく知ってもらい、情報が共有できるようにになりました。また、童浦を故郷とする人にも、ホームページを見て懐かしんでもらいたいという思いもあります。

みなさん、ぜひご覧ください。

<http://doho-hotcomi.com/>

